



〒663 西宮市池開町6-46
武庫川女子大学言語文化研究所
Tel 0798(45)3536 (直通)

愛される漢字、嫌われる漢字

あなたは漢字が好きですか？ それとも嫌いですか？

漢字が好きで、漢字検定などを受験している人もいるでしょうし、反対に、小中学校時代の漢字の勉強が、苦い思い出となっている人も少なくないでしょう。

若者語や女子大生ことばが、新聞などでしばしば取り上げられて、話題になりますが、それらを「話す」場面での特徴とするならば、「読む」「書く」場面で使う漢字に対しての若者の意識は、どのようなものでしょうか。

女子大生を対象に、「漢字と仮名、どちらが好きですか？」といったアンケート調査を行い、漢字に対する意識を探ってみました。

【調査の内容】

調査対象者は、武庫川女子大学の学生で、931人から回答を得ました。

調査で取り上げたことばは以下に示す10語で、漢字書きと仮名書きのどちらか好きな書き方を選んで○をつけてもらいました。

- | | |
|-------------|------------------|
| ① 挨拶／あいさつ | ② …して下さい／…してください |
| ③ 五月雨／さみだれ | ④ 3月頃／3月ころ |
| ⑤ 全く／まったく | ⑥ 紫陽花／あじさい |
| ⑦ 貴方・貴女／あなた | ⑧ …申し上げる／…申しあげる |
| ⑨ 一寸／ちょっと | ⑩ 又、今度ね／また、今度ね |

そのほかに、女子大生たちは漢字とどのような接し方をしているのか、また、漢字に対してどのような意識をもっているのか、という観点でのいくつかの質問にも答えられました。

女子大生たちは、漢字が好きなのか、嫌いなのか――。

以下に、調査の集計結果を報告します。

◆漢字で書くか、仮名で書くか（その1）

先に示した10語は、社会一般で漢字と仮名と両方が使われる可能性の高いものである。それらに対して、漢字と仮名のどちらを選んだかについての結果は、次の通りであった。

《半数以上の者が「漢字の方が好き」と回答したことば》（％）

1. 申し上げる	94.8	(申しあげる	5.2)
2. 五月雨	91.5	(さみだれ	8.5)
3. 3月頃	71.1	(3月ころ	28.8)
4. …して下さい	70.0	(…してください	29.8)
5. 紫陽花	60.6	(あじさい	39.3)
6. 全く	60.4	(まったく	39.6)

「申し上げる」「五月雨」は、9割以上の高い比率で「漢字」が選ばれている。

「3月頃」の「頃」は表外字(※1)で、小中学校では学ばない漢字であり、新聞でも原則として使われていない漢字である。それにもかかわらず、漢字表記を好む人が7割以上いる。これは一般社会で現実に使われていることの反映であろうか。

また、「五月雨」「紫陽花」は熟字訓(※2)であるが、これらも漢字で書く方が好まれている。さらに、「申し上げる」や「…して下さい」の「上げる」「下さい」は、漢字の「上^{うえ}」「下^{した}」の意味は強く意識されないものであるが、これらも漢字で書く方が好きな人が多い。

これらから、漢字である必要のないものに対しても漢字を好む傾向が見てとれる。

《半数以上の者が「仮名の方が好き」と回答したことば》（％）

1. また	96.5	(又	3.5)
2. ちょっと	94.6	(一寸	5.3)
3. あなた	77.7	(貴方・貴女	22.2)
4. あいさつ	65.2	(挨拶	34.7)

「また」「ちょっと」については、ほとんどの人が、仮名表記の方が好きだと回答している。「あなた」「ちょっと」は、漢字表記では熟字訓にあたるが、「五月雨」「紫陽花」と違って、仮名表記を選んだ人の方が多い。「五月雨」「紫陽花」の漢字のイメージが影響しているものと思われる。「挨拶」は、先の「頃」と同じく表外字であるが、こちらは、「頃」ほど身近ではなく漢字表記に堅苦しさを感じた結果ではなからうか。

(※1)表外字：常用漢字表に含まれていない漢字。

(※2)熟字訓：「田舎(いなか)」「土産(みやげ)」のように、漢字一字ずつでは読まず、まとめて一つの訓として読むもの。

次に、女子大生たちの漢字に対する具体的な意識を調べてみよう。以下に挙げる3つの質問(Q1~Q3)に対する回答を見ていく。

◆漢字で書くか、仮名で書くか(その2)

<Q1>書こうとすることだが、漢字でも仮名でも書ける場合どうしますか?

- (ア) できるだけ漢字を使いたい 47.5%
- (イ) できるだけ仮名を使いたい 2.9%
- (ウ) どちらともいえない 42.0%
- (エ) その他 7.6%

「漢字か仮名か」という視点で見ると、できるだけ漢字を使いたい人はかなり存在するが、できるだけ仮名を使いたい人はほとんどいない。

「できるだけ漢字を使いたい」人は、単純に考えると仮名よりも「漢字で書く方が好き」な人だと推測される。そこで、Q1で「漢字を使いたい」と回答した人が、先の10語の各ことばで漢字の方を選択したといえるかどうか調べてみることにする。

ここで、Q1の回答(ア)を「漢字派」とし、それ以外の回答を「非漢字派」としておく。「漢字派」の人は、10語のことばについても、漢字表記の方を選んだ比率が高く、「非漢字派」の人は、「漢字派」の人と比べて仮名表記の比率が高いという傾向があるのではないかと予測することができる。

たとえば、「紫陽花」の場合、漢字派と非漢字派とについて、それぞれ選んだ表記の比率を帯グラフで示すと、次のようになる。

漢字派	紫陽花 (63.5%)	あじさい (36.5%)
非漢字派	紫陽花 (56.5%)	あじさい (44.5%)

やはり漢字派のほうが漢字を多く選んでいる。そして、両者の差が統計的にみて、偶然によるものではなく意味のあるものか否かを調べてみた。その方法をカイ自乗検定というが、これによって先の10語について調べてみた。その結果、上の「紫陽花」と同じく漢字派が漢字を選び、仮名派が仮名を選ぶ傾向の有意差が認められたことばは、次の5つであった(χ^2 の値が3.84以上で危険率5%以下の有意差が認められる)。

- 「全く」 ($\chi^2=9.30$) 「紫陽花」 ($\chi^2=4.42$)
- 「あいさつ」 ($\chi^2=8.58$) 「あなた」 ($\chi^2=6.85$)
- 「ちょっと」 ($\chi^2=13.81$) (以上、自由度=1)

全体として仮名書きが多かったことばが4語(また、ちょっと、あなた、あいさつ)あった。そのうち3語で有意差が認められている。決定的な理由はわからないが、多くの人が仮名書きしても、漢字派は漢字に固執しているということであろうか。

◆漢字の知識量

<Q2>漢字を多く知ることについて？

- | | |
|------------------------------|-------|
| (ア) 漢字をできるだけ多く知っている人になりたいと思う | 77.3% |
| (イ) ふだん使う程度の漢字を知っていれば十分だと思う | 22.4% |
| (ウ) 漢字なんか知らなくてもよいと思う | 0.2% |

漢字をできるだけ多く知りたい人が8割近くいる。ふだん使う程度の漢字知識では、満足できないのである。漢字に対する知識欲の高さを表しているといえよう。

◆正確な漢字

<Q3>レポートを書くとき、ちょっとあやふやな漢字があった場合について？

- | | |
|------------------------------|-------|
| (ア) だいたい正しいと思えるなら、そのまま書けばよい | 5.8% |
| (イ) 少しでも自信がなければ、辞書や字典で調べるべきだ | 88.1% |
| (ウ) 仮名で書けばよい | 5.3% |
| (エ) その他 | 0.8% |

女子大生たちのほとんどは、間違っただ漢字は書くべきではないという意識をもち、辞書で調べることを当然だと認識しているようである。自分自身の漢字知識に正確さを求めていることの表れであろうか。

●愛される漢字、嫌われる漢字

日本語使用者は、漢字のほかに、平仮名、片仮名、そしてアルファベットをも使いながら生活している。ただでさえ複雑な表記システムの中で、漢字には、その一つ一つに字形、筆順や送り仮名という「書き方」、音読みや訓読みという「読み方」など覚えるべきことが多くある。1945字の常用漢字を小中学校で習っていく中で、漢字嫌いの生徒が出てきてもなんら不思議ではない。

その一方で、漢字検定の受験者が増加の傾向にあるという。難しい漢字を書いたり読んだりすることや、それらの漢字を習得しようと努力することは、漢字が好きだからこそできることであろう。と同時に、日本人の漢字に対するコンプレックスの表れだということもできよう。

そして、アンケート調査の結果からわかるように、女子大生たちもまた、多くの漢字を知りたいと考え、正確な漢字を書きたいという意識をもっている。今回の調査では、女子大生たちの多くが漢字好きであることが明らかになった。

漢字検定に精を出している大人たちがいて、他方、漢字の勉強が嫌いな小中学生がいる。まさに「愛される漢字」であり、「嫌われる漢字」である。

あしがき 1996. Oct.

調査語の選定などに少し反省すべき点があるように感じています。漢字の問題は今後も研究所のテーマの一つとして取り上げたいと思います。

[担当] 佐竹秀雄・岸本千秋 / [作業協力者] 加藤知子・藤村純子